株式会社 バイテックファーム薩摩川内 銘柄コード (Vitec farm satsumasendai Corporation) 法人番号 4340001019142 【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定量指標)】 日本標準産業分類 コード 項目名 エネルギー総使用量 48.332 GJ 1.246 kΩ 前年度エネルギー 中分類 01 農業 kΩ 総使用量 細分類 非化石エネルギー 0113 野菜作農業(きのこ類の栽培を含む) GJ kl (申請事業) 総使用量 【役職】 調整後温室効果ガス エネルギー管理統括者 t-CO₂ 【氏名】 排出量 【エネルギーの使用の合理化】 【調整後温室効果ガス排出量の算定に用いた認証排出削減量等の量】 【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定性的事項)】 原単位分母 合計量 種別 主たる事業における 1. エネルギーの使用の合理化に関する事項 エネルギー消費原単位※注 主たる事業 レタスを水耕栽培にて生産しており、暖房・照明などのエネルギーを使用している。完全閉鎖型の工場でLED照明を利用し収穫を (2024年度実績) Jクレジット t-C02 の構成割合 している。 2020 2021 2022 2023 2024 LED照明より発生する熱の利用・除湿器などの熱エネルギーなど利用し、冬の暖房にかかるエネルギーがあまり発生しない。LED t-C02 事業者全体の _ 年度 年度 年度 年度 年度 照明の更新 エネルギー消費原単位 を近々する為、消費電力を抑えた照明で、初期に取り付けた照明より電力コストを抑え、省エネルギー対策を実施する。 対前年度比 t-C02 事業者全体の t-C02 5年度間平均原単位変化(%) ※ 主たる事業は、必ずしもエネルギー消費量の多寡で決定されるものではなく、日本標準産 業分類の考え方に基づき各事業者が決定したもの。 2. 非化石エネルギーへの転換に関する事項 【電気の需要の最適化】 【非化石エネルギーへの転換】 人工光を利用した完全閉鎖型の植物工場は、生産コストにおける電力の比率が高い為、補助金制度などを活用しコストを抑える 原単位分母 主たる事業における 電気の非化石比率 事業者全体で使用する電気 電気需要最適化評価原単位 している。原子力発電所が30キロ圏内にあり送電ロス等が少なく非化石エネルギーの利用を行っている。LED照明時間のコント (2024年度実績) ロールを 目標(2030年度) 44.0% デマンドで管理しており、照明時間を抑える工夫もしている。 DR実施日数 2021 2022 2023 2024 年度 年度 年度 年度 年度 2020 2021 2022 2023 2024 直近5年度間の実績値 事業者全体の 年度 年度 年度 年度 年度 0.3 電気需要最適化評価原単位 対前年度比 目安設定業種 事業者全体の 5年度間平均原単位変化 【取組の概要:カーボンニュートラルに向けて】 1. 自由記述欄(カーボンニュートラルの実現等に資する事業者独自の取組や革新的技術に係る研究開発等の取組について) 【ベンチマーク指標の状況(合理化)】 目安(2030年度) ベンチマーク区分 目指すべき水準 kl/t以下 月標(2030年度) ベンチマーク指標の状況 2020 2021 2022 2023 2024 年度 年度 年度 年度 年度 直近5年度間の実績値 ベンチマーク区分 2. 関連リンク 目指すべき水準 kl/t以下 目安設定業種 ベンチマーク指標の状況 ベンチマーク区分 目安(2030年度) 目指すべき水準 ベンチマーク指標の状況 目標(2030年度) ベンチマーク区分 2022 年度 2023 年度 2021 2024 年度 年度 年度 (注意事項) 直近5年度間の実績値 目指すべき水準 ・赤枠囲み欄は必須記載です。 ・再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法第37条第1項の規定による、賦課金に係る特例の適用を受ける期間においては、 ベンチマーク指標の状況 情報の公表を継続する必要があります。

原単位の改善のための取組に関する状況 【2025年度提出分(2024年度実績)】※非特定事業者用